［環境保全推進］

本業をより強くするための環境マネジメント活動になるよう努めています。

ムラタでは、国内外でISO14001の仕組み（EMS）を統合し、より効率的で実効性の高い環境活動に取り組んでいます。その中で、全社事務局として「効率化」と「本業とEMSのつながり」のふたつを意識しています。「効率化」については、EMSの運用負荷を軽減するため、重点志向や、帳票・システムの操作性向上などを意識して改善を進めています。また、「本業とEMSのつながり」ではEMS活動自体を目標にするのではなく、自部門の業務が目標と結びつくようにサポートしています。これによって本業での改善活動とEMS活動をつなげ、本業をより強くしていく活動になるよう努めています。

株式会社村田製作所
環境部
中田 佳代

環境マネジメント

ムラタは、2009年度に国内全事業所および海外全生産拠点で、環境マネジメントシステムにもとづく環境経営の枠組み統合を完了。環境経営にかかわる情報を共有し、効率的で実効性の高い環境活動の推進とガバナンスの強化を目指します。

持続可能な生活を意識することなく実現できる、そんな未来を目指して。

私たちの事業部で取り扱っている電気二重層キャパシタは、瞬時に蓄電・放電できる部品で、一般環境では半永久的に使用できます。この特徴を利用し、小さな発電素子と組み合わせて電池不要な電子機器が実現できます。また、出力変動を吸収することで電池の長寿命化を助けることも可能です。「電池の寿命が来たら買い替え」という消費スタイルが定着している機器では電池の長寿命化が製品の長寿命化につながります。電気二重層キャパシタが内蔵された機器を使う人が無意識にロハスな（持続可能な）生活ができることを想像しながら日々開発しています。

環境配慮設計

ムラタでは、部資材購入、設計・開発、生産、使用、リサイクル・廃棄の製品の全ライフサイクルにわたる環境負荷に配慮した製品づくりを行っています。

株式会社村田製作所
化学デバイス商品統括部
森 豊貴

仕入先様とのより良い関係を築きながらグリーン調達の強化に努めています。

私たちは、グリーン調達を強化するために、仕入先様に対してGLIS（Green Level Investigation Sheet）の提供をお願いしています。しかし、すべての仕入先様にグリーン調達の重要性をご理解いただけている状況ではありません。そこで、仕入先様への研修会の開催、公共機関による無料セミナーの案内、個別研修の実施など、ご理解いただくためのさまざまな働きかけを行っております。昨今、海外生産移管の影響を受けて、化学物質の調達が急速に増えています。仕入先様とのより良い関係を築き、強固な環境マネジメントシステムの構築に努めていきたいと思います。

グリーン調達・グリーン購入

製品の環境負荷低減のためには、環境負荷の低い部資材を調達する「グリーン調達」が必要です。そこでムラタでは仕入先様に、環境経営を実践していただくよう理解と協力を求めています。

Murata Electronics (Thailand), Ltd.
Purchasing Control Section
左/ Nantanarissara Moonrungsee
右/ Poonyarak Setungkabutr

原料容器のリユースを海外拠点へと水平展開。

岡山村田製作所では、セラミックス原料を国内外の生産拠点に供給しています。従来から、原料梱包容器（以下、容器）のリユースを推進してきましたが、海外拠点、とりわけ中国では、これまで使用後の容器は現地で処分していました。そこで私たちは積み重ねてコンパクトにでき、輸送コンテナにぴったり収まる容器を開発し、使用後の容器を返送してリユースする仕組みを構築しました。海外拠点を含めたムラタグループの協働により、輸送効率がアップし、省資源、物流CO_2削減へ、さらに一歩前進することができたと思います。

環境配慮型物流・包装の推進

製造段階だけでなく、製品を輸送する物流段階においても環境負荷削減に取り組んでいます。輸送の効率化でCO_2を削減するとともに、包装材を削減して廃棄物を減らしています。

株式会社岡山村田製作所
第1製造部
大前 修作

地域に根付いた景観の維持を通して、ムラタの環境保全への理解を

八日市事業所では、操業以前から植栽されているアカマツ林と、滋賀県の花である「シャクナゲ」が共存している「シャクナゲ園」を1991年から一般公開しています。20年以上続くこの行事を通じて地域の方々と交流し、事業所の環境保全活動を理解していただけるよう努めています。また、敷地内の農園における地元NPOとのイモ掘りイベントや、小学校への出前環境/理科学習を通して地域の方々とのつながりを深める活動を推進しています。

環境リスクコミュニケーション

ムラタでは、事業活動が地域社会に及ぼすリスクの最小化と問題発生時の迅速な対応に努めるとともに、ムラタの環境保全活動について地域の方々にご理解いただくため、会社見学会を開催するなどの情報公開にも努めています。

株式会社村田製作所
八日市事業所 管理部
左/ 藤川 雅恵
右/ 北川 琴美

100年先を見据えた森林保全活動を。

登米村田製作所では、事業活動にともなう生態系への影響を考慮し、生物多様性の保全活動に取り組んでいます。当社が所在する登米市は、ラムサール条約指定地として国際的にも注目されている伊豆沼・内沼があり、冬になると市内中心部を流れる迫川にまで多くの渡り鳥が飛来する自然豊かな町です。当社では、これらの水鳥の生息地としての湖沼・河川の保護活動を行うことはもとより、100年先を見据えた森林保全育成活動にも積極的に取り組んでいます。今後、植林など実作業の他にも、生物多様性に関する講演の開催や社内報などを通じて、従業員の意識向上にもこれまで以上に力を入れていきたいと考えております。

株式会社登米村田製作所
製造2課
木川田 圭一

株式会社登米村田製作所
品質管理課
山内 勉

生物多様性の保全

ムラタでは、事業活動と生物多様性の関わりを考え、以前より生態系の保全や再生活動に力を入れてきました。2011年1月には環境方針の中に生物多様性の保全に関する行動指針を追記し、これらの活動をさらに加速するとともに、従業員の生物多様性保全の重要性に関する意識向上にも努めています。